

職場の安全運転管理

死亡交通事故の件数は年々減ってきています。

都内では昭和35年 1, 179人をピークに、平成27年は161人と過去最少となって但し65歳以上の高齢者の死亡人数は増えて来ています。昨年は58名の方が亡くなっています。交通事故を少しでも減らそうと、『職場の安全運転管理』と言う講話を聴いて来ました。12個のポイントに纏められていました。朝の朝礼等でお役立てください。

- ① 全ての座席でシートベルト着用
後部座席に座る人にもベルト着用
事故を起こした時、後部座席に座っている方が、運転手や助手席に座っている方にぶつかったり車外に放り出される事を防ぐ為。
- ② 二輪車の交通事故防止
ライダーは自己防衛を
操作技術を磨き上げる
ドライバーは直進二輪車に注意を
交差点等での右折車両と対向車線を走ってくる二輪車との事故
二輪車はドライバーから見ると、実際のスピードよりかなり遅く走っているように見える。
- ③ 違法駐車をしない
短時間でも駐車場の利用を
路上駐車すると、後ろから来る車と前から来る車がすれ違う事が出来ず
渋滞の原因となったり車の陰から飛び出す人や自転車との事故原因になる。
- ④ 生活道路での交通事故防止
30km/h以下にスピードを落とす
通学路・商店街等では十分に御注意下さい。
- ⑤ 対自転車事故を無くそう
車道を走る自転車の動静に注意を
自転車にも安全5則が有ります。
 - 1、自転車は車道が原則、歩道は例外
 - 2、車道は左側を通行
 - 3、歩道は歩行者優先で、車道寄りを徐行
 - 4、安全ルールを守る
 - ・飲酒運転・二人乗り・並走の禁止
 - ・夜間はライトを点灯
 - ・交差点での信号遵守と一時停止・安全確認
 - ・子どもはヘルメットを着用
- ⑥ 雨天時の安全運転
雨の日は速度を落とそう
雨の降り始め路面が大変すべりやすくなっている
- ⑦ 飲酒運転の根絶
飲酒運転の悲惨さを周知する
二日酔いでも違反になります
- ⑧ 疲労を残さないようにしよう
日頃からの健康管理
疲れていると、判断力・運動能力が落ちブレーキを踏むタイミングが遅くなり事故に繋がる可能性が有ります。

- ⑨ 高齢歩行者・自転車に注意
高齢者の違反行動に注意
信号無視・横断禁止の所での横断など
- ⑩ 早めのライト点灯を
ライト点灯で自車の存在をアピール
- ⑪ 日常点検を確実に実施しよう
人も車も点検を
健康管理と整備点検で人も車も的確に動ける状態を維持。
- ⑫ 『急ぎの心』を抑えよう
気持ちと時間に余裕をもって安全運転を

健康管理を行い、車の整備点検を行い、心と時間に余裕を持って、安全運転で行ってらっしゃい。